



## 概要

- [Cisco ACI ファブリックをパブリック クラウドに拡張する \(1 ページ\)](#)
- [Cisco ACI ファブリックをパブリック クラウドに拡張するためのコンポーネント \(2 ページ\)](#)
- [サポートされているクラウド コンピューティング プラットフォームと接続オプション \(5 ページ\)](#)
- [AWS Organizations と組織のユーザ テナントのサポート \(6 ページ\)](#)
- [ポリシーの用語 \(7 ページ\)](#)
- [Cisco Cloud Network Controller のライセンスング \(8 ページ\)](#)
- [Cisco Cloud Network Controller の関連ドキュメント \(9 ページ\)](#)

# Cisco ACI ファブリックをパブリッククラウドに拡張する

Cisco Application Centric Infrastructure プライベートクラウドを所有している (ACI) 顧客は、パブリッククラウドでワークロードの一部を実行することがあります。ただし、ワークロードをパブリッククラウドに移行するには、別のインターフェイスで作業し、接続を設定してセキュリティポリシーを定義するさまざまな方法を学習する必要があります。これらの課題に対処すると、運用コストが増加し、一貫性が失われる可能性があります。

Cisco ACI は、Cisco Cloud Network Controller を使用して、マルチサイトファブリックを Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、および Google Cloud パブリッククラウドに拡張できます。

### Cisco Cloud Network Controller とは

Cisco Cloud Network Controller は、クラウドベース仮想マシン (VM) で展開可能な Cisco APIC のソフトウェア デプロイメントです。Cisco Cloud Network Controller は、次の機能を提供します。

- Amazon AWS、Microsoft Azure、または Google Cloud パブリッククラウドと対話するための既存の Cisco APIC インターフェイスと同様のインターフェイスを提供します。
- クラウド導入の導入と設定を自動化します。
- クラウドルータ コントロールプレーンを設定します。

- オンプレミス Cisco ACI ファブリックとクラウドサイト間のデータパスを設定します。
- Cisco ACI ポリシーをクラウドネイティブポリシーに変換します。
- エンドポイントを検出します。

### Cisco ACI Extension からパブリッククラウドへのメリットを享受するには

Cisco Cloud Network Controller は、パブリッククラウドへの Cisco ACI 拡張の重要な部分です。Cisco Cloud APIC は、オンプレミスのデータセンターまたはパブリッククラウドの両方またはいずれかに展開されたワークロードに対して一貫したポリシー、セキュリティ、および分析を提供します。

パブリッククラウドへの Cisco ACI 拡張は、オンプレミスのデータセンターとパブリッククラウド間の自動接続を提供し、プロビジョニングとモニタリングを容易にします。また、オンプレミスのデータセンターとパブリッククラウド間、またはクラウドサイト間でポリシーを管理、監視、およびトラブルシューティングするための単一のポイントを提供します。

### AWS GovCloud のサポート

Cisco Cloud Network Controller は、us-gov-west および us-gov-east リージョンで AWS GovCloud をサポートしています。Cisco CCR は、us-gov-east リージョンにも展開できます。

AWS GovCloud に Cisco Cloud Network Controller を展開する場合、これらの領域には固有の設定があることに注意してください。

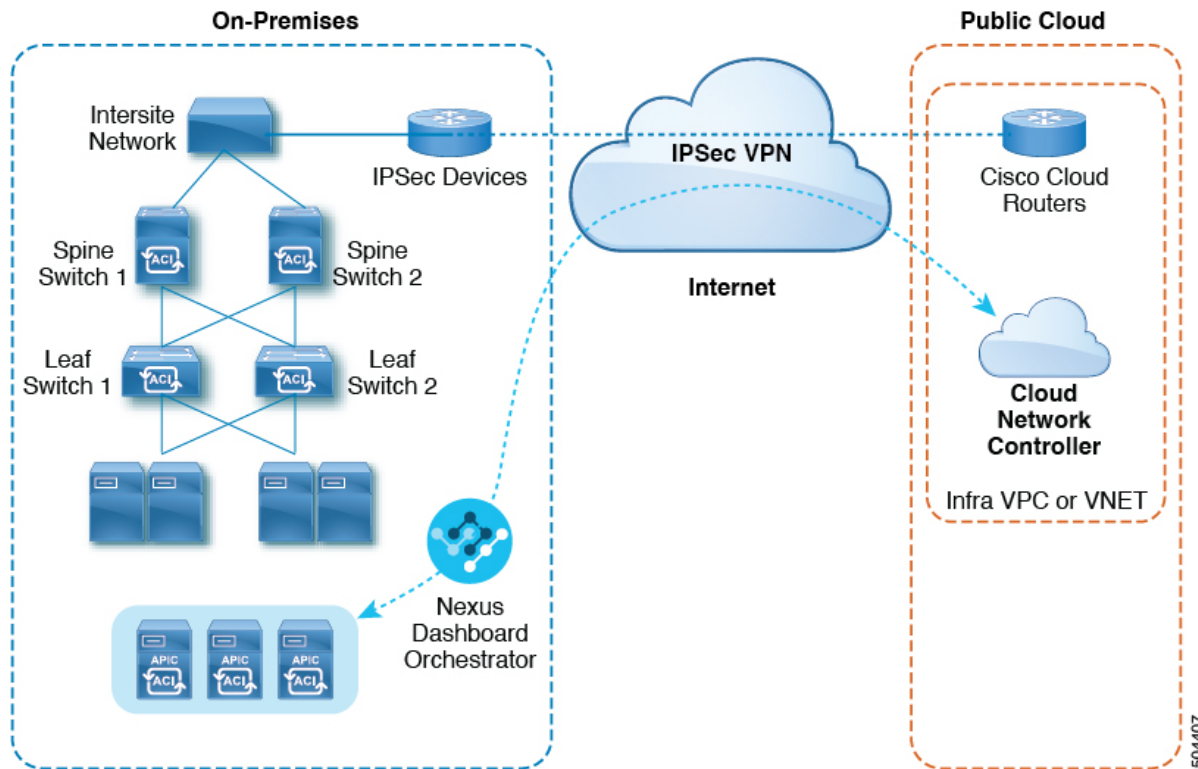
- 商用アカウントで CCR に登録します。
- 商用アカウントで Cisco Cloud Network Controller に登録します。
- 商用アカウントからクラウド形成テンプレートを起動し、ログインのために AWS GovCloud にリクエストをリダイレクトします。

## Cisco ACI ファブリックをパブリッククラウドに拡張するためのコンポーネント

マルチサイトファブリックをパブリッククラウドに拡張するには、それぞれに固有の役割を持つ複数のコンポーネントが必要です。

次の図は Cisco Cloud Network Controller のアーキテクチャの内容を示しています。

図 1: Cisco Cloud Network Controller のアーキテクチャ



## オンプレミスデータセンターコンポーネント

### Cisco ACI ファブリックおよび Cisco APIC

Cisco ACI では、アプリケーション要件でネットワークを定義できます。このアーキテクチャにより、アプリケーションの導入ライフサイクル全体がシンプルになって最適化され、短時間で完了します。Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) の主要コンポーネントです。Cisco ACI これにより、アプリケーションは、ネットワーク、コンピューティング、およびストレージ機能を含むセキュアで共有された高性能リソースプールに直接接続できます。

### マルチサイトおよびマルチサイト オーケストレータ/Cisco Nexus Dashboard Orchestrator

マルチサイトは、プログラムを利用してアプリケーションがネットワーク要件を定義することを可能にするアーキテクチャです。このアーキテクチャにより、アプリケーションの展開が簡素化・最適化され、そして促進されます。Cisco Cloud Network Controller を使用してファブリックをパブリッククラウドに拡張するには、Multi-Site をインストールする必要があります。

詳細については、Cisco.com の [Nexus Dashboard のマニュアル](#) およびこのガイドのセクション [マルチサイトを介した Cisco Cloud Network Controller の管理](#) を参照してください。

Cisco Nexus Dashboard Orchestrator (NDO) は、複数のファブリック (サイト) で複数の Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) のインスタンスを管理します。

Cisco ACI ファブリックをパブリッククラウドに拡張すると、Cisco Nexus Dashboard Orchestrator はオンプレミスのデータセンターとパブリッククラウド間の接続を作成します。マルチサイト

を使用して、オンプレミスのデータセンターとパブリッククラウド全体にテナントを作成します。



- (注) オンプレミスファブリックを設定する必要があります。ファブリック外部接続ポリシーを作成し、マルチサイトに必要なオーバーレイTEPおよびその他の情報を定義します。Cisco ACI また、マルチサイトアーキテクチャにオンプレミスファブリックを追加する必要があります。Cisco ACI Cisco.com の [Nexus Dashboard Configuration Guide](#) を参照してください。

詳細については、Cisco.com の [Nexus Dashboard のマニュアル](#) およびこのガイドのセクション [マルチサイトを介した Cisco Cloud Network Controller の管理](#) を参照してください。

### IP セキュリティ (IPSec) ルータ

オンプレミス サイトとパブリック クラウド サイト間の IPsec 接続を確立するには、インターネット プロトコル セキュリティ (IPsec) 対応のルータが必要です。

### AWS パブリック クラウド コンポーネント

#### Cisco Cloud Network Controller

Cisco Cloud Network Controller は次のアクションを実行します。

- パブリック クラウド上のサイトを定義し、クラウドインフラ仮想プライベート クラウド (VPC) または仮想ネットワーク (VNET) をプロビジョニングし、すべてのリージョンで Cisco クラウドルータ (CCR) を管理します。
- パブリッククラウドでポリシーモデルをレンダリングし、クラウドの健全性を管理します。Cisco ACI

詳細については、*Cisco Cloud Network Controller* リリース ノート を参照してください。このガイドの [AWS での Cisco Cloud Network Controller の展開](#) および [セットアップ ウィザード](#) を使用した [Cisco Cloud Network Controller の構成](#) も参照してください。

#### Cisco Cloud ルータ

シスコクラウドルータ (CCR) は、仮想およびクラウド環境で包括的な WAN ゲートウェイとネットワークサービスを提供します。CCR により、企業はWANをプロバイダーがホストするクラウドに拡張できます。Cisco Cloud Network Controller ソリューションには2つのCCRが必要です。

リリース 25.0(3)以降、Cisco Cloud Network Controller では **Cisco Catalyst 8000V** をクラウドサービスルータとして使用します。このCCRの詳細については、『[CSR 8000v のマニュアル](#)』を参照してください。

### AWS パブリック クラウド

AWSは、コンピューティング、ストレージ、ネットワーク、データベースなどのオンデマンドサービスを提供するクラウドベースのプラットフォームです。AWSのサブスクリプションは、インターネット経由でワークロードを実行できる仮想コンピュータにアクセスできます。

詳細については、AWS の Web サイトのマニュアルを参照してください。

## オンプレミスデータセンターとパブリッククラウド間の接続

### IPsec VPN

パブリックにルーティング可能な IP アドレスを含み、AWS または Microsoft Azure の接続に十分な帯域幅を持つ、IPsec ルータからの VPN とのインターネット接続が必要です。

### 管理接続

オンプレミスのデータセンターの Nexus Dashboard Orchestrator とパブリッククラウドの Cisco Cloud Network Controller の間に管理接続が必要です。

# サポートされているクラウドコンピューティングプラットフォームと接続オプション

Cisco Nexus Dashboard Orchestrator を使用して、次のコンポーネント間の接続を確立することができます。

- オンプレミスからクラウドへの接続：
  - 次のパブリッククラウドサイトの接続：
    - オンプレミス Cisco ACI および Amazon AWS パブリッククラウドサイト
    - オンプレミスおよび Microsoft Azure パブリッククラウドサイト Cisco ACI
    - オンプレミス Cisco ACI と Google Cloud パブリッククラウドサイト
  - オンプレミスからシングルクラウドサイトへの接続（ハイブリッドクラウド）
  - オンプレミスから複数のクラウドサイトへの接続（ハイブリッドマルチクラウド）
- クラウドサイト間接続（マルチクラウド）：
  - Amazon AWS パブリッククラウドサイト間（Amazon AWS パブリッククラウドサイトから Amazon AWS パブリッククラウドサイト）
  - Microsoft Azure パブリッククラウドサイト間（Microsoft Azure パブリッククラウドサイトから Microsoft Azure パブリッククラウドサイト）
  - Google Cloud パブリッククラウドサイト間（Google Cloud パブリッククラウドサイトから Google Cloud パブリッククラウドサイトへ）
  - Amazon AWS、Microsoft Azure、および Google Cloud パブリッククラウドサイト間

さらに、シングルクラウド設定（Cloud First）もサポートされます。

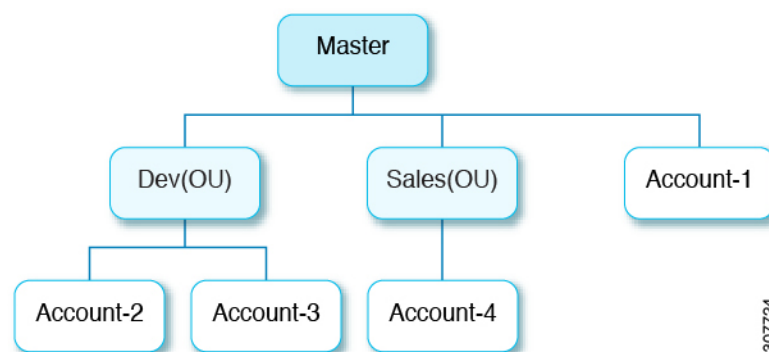
## AWS Organizations と組織のユーザ テナントのサポート

組織内の複数のアカウントを使用すると、さまざまなアカウントのアクセスポリシーとアクセス許可を個別に制御するのは簡単ではありませんが、組織内の組織レベルまたは組織内のサブ組織レベルで簡単に行うことができます。

企業では、AWS Organizations を使用して、次に説明するように、組織内で複数の AWS アカウントを管理することができます。

<https://aws.amazon.com/organizations/>

組織内のアカウント(またはサブアカウント)のアクセスポリシーの管理は、組織内のアカウント階層のルートにある組織のマスターアカウントによって行われます。次の図は、組織におけるアカウントの設定例を示しています。



AWS アカウントが AWS Organizations の一部になる方法は 2 つあります。

- **作成:** マスターアカウント内の既存の組織内では、AWS GUI または AWS API を使用して、AWS Organizations に自動的に含まれる AWS アカウントを作成できます。
- **招待:** 組織の外部で作成されたが、組織に参加する必要があるアカウントの場合は、マスターアカウントからアカウント所有者に招待を送信する必要があります。招待状に同意すると、招待されたアカウントは組織内のサブアカウントになります。

AWS Organizations を使用して AWS アカウントを統合および管理する場合は、通常のように、AWS Organizations を使用して組織を設定し、作成されたまたは招待されたアカウントを追加します。詳細については、「[組織の作成](#)」を参照してください。

作成済みまたは招待されたアカウントを AWS を介して組織に追加したら、Cisco Cloud Network Controller が AWS を通じて行った AWS Organizations の構成を Cisco Cloud Network Controller が認識するように、必要な構成を行います。Cisco Cloud Network Controller は、AWS Organizations テナントのポリシーを管理するために、OrganizationAccountAccessRole IAM ロールを使用します。

- マスターアカウント内の既存の組織内で AWS アカウントを作成した場合は、その作成した AWS アカウントに組織の OrganizationAccountAccessRole IAM ロールが自動的に

に割り当てられます。この場合、AWS の OrganizationAccountAccessRole の IAM ロールを手動で設定する必要はありません。

- マスターアカウントが組織に参加するために既存の AWS アカウントを招待した場合は、AWS で OrganizationAccountAccessRole IAM ロールを手動で設定する必要があります。組織テナントの AWS で OrganizationAccountAccessRole IAM ロールを設定し、Cisco Cloud Network Controller に関連する権限があることを確認します。

OrganizationAccountAccessRole IAM ロールは、組織またはアカウントに使用される SCP (サービス制御ポリシー) とともに、組織またはアカウントに対して、組織またはアカウントに使用する SCP (サービス制御ポリシー) とともに、組織のポリシーを管理するために Cisco Cloud Network Controller に必要な最小限の権限が付与されている必要があります。アクセスポリシーの要件は、信頼できるテナントまたは信頼できないテナントの要件と同じです。

詳細については、次の URL にある [Cisco Cloud Network Controller for AWS ユーザーガイド](#) の「テナント AWS プロバイダの設定」の項を参照してください。

その後、[共有テナントの設定](#) で説明されている手順を使用して、Cisco Cloud Network Controller GUI を介してテナントに組織タグを割り当てることができます。

## ポリシーの用語

Cisco Cloud Network Controller の主要な機能は、Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) ポリシーのパブリッククラウドのネイティブコンストラクトへの変換です。

次の表に、Amazon Web Services (AWS) のポリシー用語と同等の用語を示します。Cisco ACI

Cisco ACI	AWS
テナント	ユーザー アカウント
AAA ユーザ、セキュリティドメイン	Identity and Access Management (IAM)
Virtual Routing and Forwarding (VRF)	VPC
BD サブネット	Virtual Private Cloud (VPC) のサブネット CIDR
ACI インフラ (または ACI インフラ テナント)	VPC (Cisco Cloud Network Controller ではインフラ VPC と呼ばれる)
契約、フィルタ	セキュリティグループルールの作成
タブー	ネットワーク アクセス リスト
EPG	セキュリティグループ
EP から EPG へのマッピング	タグ、ラベル
エンドポイント	EC2 インスタンスのネットワークアダプタ



# Cisco Cloud Network Controller のライセンスング

ここでは、Cisco Cloud Network Controller を使用するためのライセンスング要件を示します。

## Cisco Catalyst 8000V

Cisco Cloud Network Controller 上の Cisco Catalyst 8000V は次のライセンス モデルをサポートしています。

1. 所有ライセンス持ち込み（BYOL）ライセンス モデル
2. ペイアズユーゴー（PAYG）ライセンス モデル

### BYOL ライセンス モデル

Cisco Catalyst 8000V の BYOL ライセンス モデルでは、Cisco から Catalyst 8000V Cisco DNA ライセンスを購入し、クラウドに展開する必要があります。

- ティアベースの Cisco Catalyst 8000V ライセンスの1つにサブスクライブする手順については、[Cisco Catalyst 8000V Edge ソフトウェア](#)を参照してください。
- 階層に基づくさまざまなスループットの詳細については、[Cisco Cloud Network Controller ユーザーガイド](#)の、「Cisco Catalyst 8000Vについて」の「スループット」セクションを参照してください。

### PAYGライセンス モデル

25.0(4) リリース以降、Cisco Cloud Network Controller は Cisco Catalyst 8000V でのペイアズユーゴー（PAYG）ライセンス モデルをサポートしています。これにより、ユーザーは VM サイズに基づいてクラウドに Catalyst 8000V インスタンスを展開し、時間単位で使用料を支払うことができます。

スループットを得るために VM サイズに完全に依存しているため、PAYG ライセンス モデルを有効にするには、まず現在の Cisco Catalyst 8000V の展開を解除してから、新しい VM サイズでの初回セットアップを使用して再度展開します。詳細については、[セットアップウィザードを使用した Cisco Cloud Network Controller の構成](#)を参照してください。



---

(注) 使用可能な2つのライセンスタイプを切り替える場合も、ライセンスを切り替える手順を使用できます。

---



---

(注) AWS マーケットプレイスでライセンスを使用するには、**Catalyst 8000V Cisco DNA Essentials** と **Catalyst 8000V Cisco DNA Advantage** の2つの PAYG オプションがあります。Cisco Cloud Network Controller は、**Catalyst 8000V Cisco DNA Advantage** を利用します。「Cisco DNA Advantage」サブスクリプションでサポートされる機能については、『[Cisco DNA Software SD-WAN およびルーティングマトリックス](#)』を参照してください。

---



## Cisco Cloud Network Controller およびオンプレミス ACI ライセンスの概要

- オンプレミス Cisco ACI サイトのすべてのリーフスイッチのライセンス要件：
  - Cisco ACI オンプレミス サイトが単一サイトの場合、オンプレミス リーフスイッチには Essentials ライセンス階層（またはそれ以上）を使用します。
  - Cisco ACI オンプレミス サイトがマルチサイトの場合、オンプレミス リーフスイッチには Advantage ライセンス階層（またはそれ以上）を使用します。
- Cisco Cloud Network Controller インスタンスによって管理されるすべての VM インスタンスのライセンス要件：
  - クラウド上の Cisco ACI に Cisco Cloud Network Controller が 1 つしかない場合は、Cisco Cloud Network Controller に Essentials クラウドライセンス階層（またはそれ以上）を使用します。
  - クラウド上の Cisco ACI に Cisco Cloud Network Controller が 1 つ以上ある場合は、Cisco Cloud Network Controller に Advantage クラウドライセンス階層（またはそれ以上）を使用します。

## Amazon Web Services (AWS)

ライセンスのタイプに基づき、AWS Marketplace を介して登録する必要があります。

- **BYOL** ライセンス モデルの場合は、[Cisco Catalyst 8000V Edge Software - BYOL](#) に登録します。
- **PAYG** ライセンス モデルの場合は、[Cisco Catalyst 8000V Edge Software - PAYG](#) に登録します。

# Cisco Cloud Network Controller の関連ドキュメント

Cisco Cloud Network Controller、Nexus Dashboard、および Amazon Web Services (AWS) に関する情報は、さまざまなリソースから入手できます。

## シスコのドキュメント

Cisco.com でシスコ製品のマニュアルを参照してください。

- [Cisco Cloud Network Controller の関連ドキュメント](#)  
ビデオ、リリースノート、基礎、インストール、設定、およびユーザガイドが含まれています。
- [Nexus Dashboard の関連ドキュメント](#)  
ビデオ、リリースノート、インストール、設定、およびユーザガイドが含まれています。
- [Cisco Cloud Router の関連ドキュメント](#)

リリースノート、コマンドリファレンス、データシート、インストール、アップグレード、および設定ガイドが含まれています。

### **AWS** ドキュメント

AWS Web サイトで、ユーザガイド、FAQ、ケーススタディ、ホワイトペーパーなどのドキュメントを検索できます。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。